

令和6年度補正予算(案)の概要

(令和6年9月定例会提出)

1 総 括

(単位:千円)

	補正前の額	補正額	補正後の額
一 般 会 計	37,336,510	502,080	37,838,590
特 別 会 計	28,784,160	186,710	28,970,870
公営企業会計	10,788,060	—	10,788,060
特 別 会 計	17,996,100	186,710	18,182,810
総 額	66,120,670	688,790	66,809,460

2 補正予算の主な内容

(1) 一 般 会 計 (第3号)

(単位:千円)

補正前の額	補正額	補正後の額
37,336,510	502,080	37,838,590

① 歳入

(単位:千円)

款 名	項 目	補 正 額	備 考
地方交付税	普通交付税	△ 83,124	交付額の決定による更正
国庫支出金	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金	△ 65,000	[総務費]財産管理経費(旧勤労者福祉会館施設整備分)
		△ 55,000	[教育費]校舎等改修事業費(中学校費)
	公費負担医療制度関係手続電子化システム改修事業費補助金	9,000	[民生費]障害者福祉システム管理経費
	社会資本整備総合交付金	855	[土木費]民間建築物耐震改修等推進事業費
府支出金	緊急時避難円滑化事業費補助金	72,370	[総務費]緊急時避難円滑化事業費
	地方改善施設整備費補助金	17,775	[民生費]市民交流センター施設整備事業費
	住宅耐震診断事業費補助金	390	[土木費]民間建築物耐震改修等推進事業費
	木造住宅耐震改修等事業費補助金	150	[土木費]民間建築物耐震改修等推進事業費
繰入金	市民福祉ささえあい基金繰入金	19,800	[総務費]財産管理経費(旧勤労者福祉会館施設整備分)
	豊かな森を育てる基金(森林環境譲与税分)繰入金	6,420	[農林水産業費]山から地域を元気にする事業費補助金
繰越金	繰越金	510,844	令和5年度からの繰越金

市債	民生債	13,900	[民生費]市民交流センター施設整備事業費
	土木債	22,000	[土木費]河川整備事業費
	教育債	5,300	[教育費]校舎等改修事業費(中学校費)
	臨時財政対策債	26,400	普通交付税算定に伴う起債額確定による更正
計		502,080	

② 歳出

(単位:千円)

款名	事務・事業名	補正額	備 考	主な事務 事業調
総務費	拡大 緊急時避難円滑化事業費	74,270	市道松尾杉山登尾線及び溝尻多門院線の道路改良に係る追加対策工事分等の増額	P1
	新規 財政調整積立金	327,000	令和5年度決算剰余金の積立	
	財産管理経費(旧勤労者福祉会館施設整備分)	△ 45,200	福祉人材の養成拠点である旧勤労者福祉会館において、再生可能エネルギー設備の導入を見合わせ、空調設備を優先的に改修するための事業費の減額と財源更正	P2
	過年度税外収入還付金	122,430	過年度国庫負担金等精算返還金の追加	
民生費	拡大 障害者福祉システム管理経費	9,000	マイナンバーカードを活用し、今後は受給資格情報の確認を「医療費助成に係るオンライン資格確認システム」において可能にするため、医療機関等のシステム改修経費に対する補助を実施	P3
	新規 市民交流センター施設整備事業費	34,000	福来市民交流センターの長寿命化等のための改修工事を実施	P4
農林水産業費	拡大 山から地域を元気にする事業費補助金	6,420	里山整備等活動経費に対する補助の追加	P5
土木費	拡大 河川整備事業費	22,000	大雨時の出水による、護岸の崩落や河川法面の崩壊箇所等の修繕及び、土砂の堆積等が生じている河川の浚渫を追加で実施	P6
	拡大 民間建築物耐震改修等推進事業費	1,860	市内木造住宅の耐震診断士派遣及び耐震シェルター設置に対する補助の追加	P7
教育費	【中学校費】校舎等改修事業費	△ 49,700	中学校体育館において、再生可能エネルギー設備の導入を見合わせ、空調設備及び照明のLED化の設計を優先的に実施するための事業費の減額と財源更正	P8
計		502,080		

③ 債務負担行為

(単位:千円)

事 項	期 間	限 度 額	主な事務 事業調
学校給食調理業務委託経費	令和6～7年度	57,500	

(2) 国民健康保険事業会計（第1号）

(単位:千円)

補正前の額	補正額	補正後の額
7,358,130	2,060	7,360,190

① 歳入

(単位:千円)

款名	項目	補正額	備考
繰越金	繰越金	2,060	令和5年度からの繰越金

② 歳出

(単位:千円)

款名	事務・事業名	補正額	備考	主な事務 事業調
諸支出金	府支出金返還金	2,060	事業費の確定による府支出金の返還金	

(3) 介護保険事業会計（第1号）

(単位:千円)

補正前の額	補正額	補正後の額
8,963,140	184,650	9,147,790

① 歳入

(単位:千円)

款名	項目	補正額	備考
繰越金	繰越金	184,650	[保険事業勘定]令和5年度からの繰越金

② 歳出

(単位:千円)

款名	事務・事業名	補正額	備考	主な事務 事業調
諸支出金	返還金	184,650	[保険事業勘定]事業費の確定による 国庫支出金等の返還金	

3 令和6年度末の基金残高、市債残高の見込み

(1) 基金残高 (令和6年度末見込み額) (単位:千円)

区 分	※補正前見込み額	補 正 額	補正後見込み額
一 般 会 計	11,706,345	300,780	12,007,125
特 別 会 計	1,014,020	-	1,014,020
計	12,720,365	300,780	13,021,145

※令和5年度決算後の金額に、令和6年度の既決予算額を反映させたものです。

(2) 市債残高 (令和6年度末見込み額) (単位:千円)

区 分	補正前見込み額	補 正 額	補正後見込み額
一 般 会 計	32,880,833	67,600	32,948,433
建設地方債	20,184,008	41,200	20,225,208
臨時財政対策債等	12,696,825	26,400	12,723,225
特 別 会 計	31,540,477	-	31,540,477
計	64,421,310	67,600	64,488,910

令和6年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	緊急時避難円滑化事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	74,270 千円			予算書	10 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	内閣府において制度化された「原子力発電施設等緊急時安全対策交付金」の「緊急時避難円滑化事業」を活用して、高浜発電所のP A Zである松尾・杉山地区の避難路となっている市道「松尾杉山登尾線」、高浜発電所から10キロ圏内に位置し、複合災害発生時に孤立する可能性がある多門院地区の避難路となっている市道「溝尻多門院線」を改良し、住民の避難の円滑化を図る。 今回、当該路線において追加の対策工事等が必要となったことから、事業費を補正する。				
事業の内容	○松尾杉山登尾線（松尾地区 L=130m） 工事掘削作業中、顕著な湧水の出現により法面崩落が生じたため、追加の対策工法の設計及び対策工事の実施、また、法面崩落による隣接家屋への影響を把握するため、家屋調査を実施。 - 実施期間 令和3年度～令和6年度 - 追加事業費 63,270千円 - 対策工法設計 3,000千円 - 対策工事（土工、法面補強工等）58,370千円 - 隣接家屋調査費 1,900千円 ○溝尻多門院線（多門院～堂奥地区 L=311m） 関係機関等と調整による排水構造物の追加工事を実施。 - 実施期間 令和4年度～令和6年度 - 追加事業費 11,000千円（排水構造物追加工事費等） （ 当初予算額 45,000千円 補正額 74,270千円 補正後の額 119,270千円 ）				
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書	
	国 支 出 金	-			
	府 支 出 金	72,370	緊急時避難円滑化事業費補助金（10/10）	8	
	地 方 債	-			
	そ の 他	-			
	一 般 財 源	1,900			
担当課	危機管理・防災 土木課		課長名	西村 和宏 尾橋 英憲	内線 2561 番号 2350

令和6年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	財産管理経費（旧勤労者福祉会館施設整備分）					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
事業費	△45,200 千円			予算書	10 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的

昭和43年に建設され、普通財産として管理している旧勤労者福祉会館は、現在舞鶴Y M C A国際福祉専門学校に貸し出し、福祉人材の養成拠点として活用している。
今般、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金が不採択になったことを踏まえ、養成拠点としての修学環境確保を最優先に、老朽化した空調設備の改修を図るもの。

事業の内容

【当初予算】

- ・空調設備更新工事
- ・再生可能エネルギー設備設置工事
(太陽光発電設備設置等)

65,000千円

【補正後予算額】

- ・空調設備更新工事

19,800千円

【補正額】

△45,200千円

※補正予算の財源は、市民福祉ささえあい基金繰入金を活用
基金の目的である「市民が共に支え合い、高齢者、障害者等が安心して生活することができる社会の形成」に繋がる、福祉人材の確保・育成を図るもの

財源内訳

区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
国 支 出 金	△ 65,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金 (定額)	8
府 支 出 金	-		
地 方 債	-		
そ の 他	19,800	市民福祉ささえあい基金繰入金	8
一 般 財 源	-		

担当課

福祉企画課

課長名

山本 仁志

内線番号

2290

令和6年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	障害者福祉システム管理経費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉援護費
事業費	9,000 千円			予算書	10 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	医療DX推進により、本年12月に予定するマイナ保険証を基本とする仕組みへの移行に向けて、デジタル庁では、マイナンバーカードを使用しオンラインでの医療費助成の資格確認等を可能とするため、自治体と医療機関等の情報を連携するシステム（PMH）が構築された。また、PMHの運用には、自治体等が使用するシステムの改修・連携が必要であり、運用確認や課題検証のため、改修作業を早期に行う先行実施事業が進められることとなった。 DX化により、市民はスマートフォン等から資格情報等を確認でき、医療機関等は事務の負担軽減につながる等、PMHを介した情報連携には利点があることから、本市は先行実施事業の採択を受けた。今後は、更生医療及び育成医療にかかる受給者資格情報をPMHと連携させることと併せ、PMHと医療機関等が使用するシステムの連携についても検証する必要があるため、医療機関等のシステム改修に係る費用に助成し、現在、紙の受給者証で行っている資格確認をシステム上で行うことを目指す。 更生医療…身体障害者が、その障害の除去・軽減を目的に受ける治療にかかる医療費への助成制度 育成医療…障害のある児童等が、生活の能力を得るために受ける障害の除去等の治療にかかる医療費への助成制度			
	医療機関等へのシステム改修に係る補助金 (更生医療等に係る京都府の指定を受ける医療機関等が対象) 医療機関 1,000千円× 3機関 = 3,000千円 薬局 300千円× 20機関 = 6,000千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	9,000	公費負担医療制度関係手続電子化システム改修事業費補助金(10/10)	8
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課 障害福祉・国民年金 課		課長名 大槻 成雄		内線番号 2130

令和6年度 主な事務事業調

No. 4

事業名	施設整備事業費（福来市民交流センター改修工事）					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	34,000 千円			予算書	10 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	避難所指定施設でもある福来市民交流センターの老朽化に伴い、施設改修工事を実施し、地域福祉や人権啓発の拠点として、誰もがより利用しやすい施設を目指す。 また、将来的には隣接する大久保会館（老人憩の家）の機能を当センターに統合することとしており、そのために必要な工事も実施する。				
	空調設備や照明の更新などの長寿命化工事のほか、将来の大久保会館との機能統合に向けて、1階に集会スペースを確保することや、多目的トイレに手すりを設置する工事を行う。 【建築工事】 ・1階ふれあいルームと学習室を集会スペースとして改修 ・屋上防水改修 ・多目的トイレの手すり増設 【電気工事】 ・照明のLED化 【機械設備工事】 ・空調設備の更新 等				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	17,775	地方改善施設整備費補助金（3/4）		8
	地方債	13,900	社会福祉債		8
	その他	-			
	一般財源	2,325			
担当課		人権啓発推進課	課長名	山本 哲也	内線番号 1276

令和6年度 主な事務事業調

No. 5

事業名	山から地域を元気にする事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	6,420 千円			予算書	10 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	里山保全活動に取り組む地域や団体を積極的に支援し、地域課題である放置竹林の減少や里山林の整備促進をはじめ、良好な景観の保全や、獣害・自然災害のリスク低減を図るとともに、新たな活動の裾野を広げることで、地域コミュニティの活性化を図る。 ※森林環境譲与税活用事業				
事業の内容	1. 補助対象 ①里山整備・保全等の活動に年3回以上取り組む地域や団体 ②上記の活動に係る補助対象経費が100千円を超える活動 2. 補助率：定額（上限500千円） 3. 対象となる経費 機械購入・修繕費、消耗品費、保険料、資機材レンタル費、伐採等に係る委託費、林産物の特産品化に係る研究・開発費、里山整備に資する地域イベント開催費用など 4. 交付申請状況 申請数：20団体、交付申請総額：9,420千円 （当初予算額：3,000千円）				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	6,420	豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金	8
	一般財源	-		

担当課	農林課	課長名	濱田 鉄也	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	河川整備事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	22,000 千円			予算書	10 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	大雨の出水による、護岸の崩落や河川法面の崩壊箇所等の修繕及び、土砂の堆積や草木が繁茂し通水に著しく支障が生じている河川の浚渫を実施し、浸水対策を図る。				
事業の内容	【対象河川】 ・寿川（高野由里） 護岸改修 L=約40m ・オグラ川（野村寺） 護岸改修 L=約20m ・稲荷川（大波下他） 浚渫 ・千歳川（千歳） 浚渫 ・引土水路他（引土） 浚渫 他 ※補正後事業費 123,700千円 （当初予算額 101,700千円＋今回補正額 22,000千円）				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	22,000	河川債		8
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課		土木課	課長名		尾橋 英憲
			内線番号		2350

令和6年度 主な事務事業調

No. 7

事業名	民間建築物耐震改修等推進事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
事業費	1,860 千円			予算書	10 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	舞鶴市建築物耐震改修促進計画に基づき、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進するため、耐震診断士の派遣と耐震改修に係る費用の一部を助成する。 能登半島地震の影響等による市民の耐震化に対する意識の高まりにより、近年の実績を大幅に上回る耐震診断の申込希望や相談を受けていることから、事業の拡充により更なる民間住宅の耐震化を図る。				
事業の内容	○木造住宅耐震診断士派遣 1,560千円（52千円×30件） 【事業概要】 木造住宅（昭和56年5月31日以前に建築）について、耐震診断士が耐震診断や改修に係る提案等を実施するもの。自己負担額3,000円。 ○木造住宅耐震改修助成（耐震シェルター設置） 300千円（300千円×1件） 【助成金額】耐震シェルター設置経費の3/4、上限30万円 【耐震シェルター】 地震による家屋の倒壊から命を守ることを目的として、居間や寝室など局所的な安全空間の確保を行うよう部屋単位で設置できる装置。 <参考>R6当初予算額 8,576千円（補正後10,436千円）				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	855	社会資本整備総合交付金（1/2）		8
	府支出金	540	木造住宅耐震改修等事業費補助金（1/2） 住宅耐震診断事業費補助金（1/4）		8
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	465			
担当課		住宅課	課長名 有田 昌史		内線番号 2370

令和6年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	校舎等改修事業費（中学校）					
費目	款	教育費	項	中学校費	目	学校建設費
事業費	△49,700 千円			予算書	11 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	次代を担う子どもたちの学習・生活の場である学校施設の安全性・機能性を確保し、学校生活の充実に必要な教育環境の整備を図る。 中学校体育館においては、今般、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金が不採択になったことを踏まえ、安全・安心な教育環境の確保を最優先に、空調設備及び照明のLEDを整備するもの。				
事業の内容	【当初予算】 中学校体育館再生可能エネルギー導入・理解促進事業 ・調査・設計業務委託(青葉(第二)・白糸・和田・城南中学校) △55,000 千円 【補正後予算額】 中学校体育館空調設備及び照明LED整備事業 ・設計業務委託(和田・城南中学校) 5,300 千円 【補正額】 △49,700 千円 ※補正予算の財源は、緊急防災・減災事業債を活用 学校体育館は大規模災害発生時等に地域の避難所としても利用されることから同事業債を活用し整備を図るもの。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	△55,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金（定額）		8
	府支出金	-			
	地方債	5,300	中学校債		8
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課	教育総務課	課長名	瀬野 薫		内線番号 2410